2023年度～2025年度　グループサステナビリティ活動推進目標

区分	【重要課題】マテリアリティ	【戦略】サステナビリティ活動推進目標	【指標および目標】グループ共通KPI	関連性の高いSDGs	
				ゴール	ターゲット
E（環境）	① 気候変動問題への対応	・バイオマスエネルギーや最新技術の活用によって2050年までにCO_2排出を実質ゼロとする「ゼロCO_2 2050」の達成をめざす	・2030年のCO_2排出量を2005年度比43%削減	6 7 9 11 12 13	6.3　11.6　13.3 7.2　12.4 9.4　12.5
	② 責任ある原材料調達	・「グループ原材料調達基本方針」に基づき、環境と社会に配慮したCSR調達を推進する	・環境、社会、人権に配慮して生産された木質製紙原料の調達	12	12.7
	③ 森林管理と生物多様性の保全	・森林の多面的機能を活かすべく、社有林、管理林の適正且つ持続可能な経営を維持する ・社有林、管理林の生物多様性の保全、また社有林、管理林を通じた地域交流に努める	・社有林、管理林のCO_2吸収量の維持・拡大 ・生物多様性に関する地域交流の強化	15	15.2 15.4
S（社会）	④ 職場の安全衛生の確保	・hSA25を推進することにより、無災害職場の構築を図る	・重篤災害ゼロ ・労働災害（軽微な災害含む）件数25件数以下	3	3.6
	⑤ 人的資本経営の実現	・人的資本経営を推進することにより、人材の確保と育成を加速させ、グループ全体の競争力強化を図る	・（新卒・中途）定着率の改善 ・従業員一人当たり教育訓練投資額の増加 ・研修受講者人数の集計　・資格・免許保有数の増加 ・経営陣、管理職層における女性、外国人、中途採用者等の割合を現状（2021年度）の約1割から2030年に倍増させる ・女性管理職比率の向上　・男性の育児休業取得率の向上	5 8	5.1 5.5 5.C 8.5
	⑥ 責任ある製品品質の提供と新製品開発	・製品品質と安全性を確保する ・環境配慮型の製品開発を推進する	・製造物責任事故 0件（単体） ・環境配慮型製品の拡充 ・ナノテクノロジーを利用した製品の開発	12 14	12.4 12.5 12.7 14.2
	⑦ ステークホルダーとの対話	・ステークホルダー（株主・投資家、販売先・調達先、消費者、従業員、地域社会）との良好な関係を継続する	・ステークホルダー・エンゲージメントの向上 （IR・SRミーティングの実施、工場見学・インターンシップの受け入れ、従業員意識調査の実施　等） ・各種アンケートへの回答　・社会貢献活動の継続		
G（ガバナンス）	⑧ コーポレートガバナンスの充実	・コーポレートガバナンスの継続的な改善を進める ・リスクマネジメント活動の強化を図る	・開示内容の拡充　・リスク低減活動の継続	3 16	3.3 16.5
	⑨ 人権の尊重	・人権尊重に関する対応を推進する	・国連グローバルコンパクトへの署名　・人権方針の策定 ・人権尊重に関する対応の確立	10 8	8.7 10.2 10.3